

# 地域づくりインターン事業

7月30日から8月20日にかけて、地域づくりインターン事業が行われ、首都圏を中心に6名の大学生がインターン生として、本町で農業体験や地域での聞き取り取材などを行いました。

そのインターン生の声を先月号に引き続き紹介します。

このインターン事業に対して、受け入れ家庭をはじめ町民の方々に多大なるご協力をいただき、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 佐藤 一圭（派遣期間：7月30日～8月13日）

全体を通して感じるのは「楽しかった」の一言です。大好きなビールを毎日飲ましてもらい、おいしい料理を毎日食べさせてもらい、この2週間で4.5キロも太ってしまいました。それが錦江町に行って唯一落ち込みました。また、いろいろな体験を通していろいろな錦江町民と話せたことや教わったことは良い経験になりました。2週間お世話になった福岡和徳さん一家、役場の方々をはじめ、お世話になったすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです。生意気な私を温かく迎えてくれて、温かく接してくれて、熱く語ってくれたことは、私の貴重な財産になると思います。本当に本当にありがとうございました。

私は錦江町が大好きになりました。



▲漁業体験で海の男になりきって一枚



▲宿利原納涼大会に飛び入り参加

## 井口 菜々子（派遣期間：7月30日～8月13日）

錦江町で過ごした2週間は特殊な日々でした。体験したのは初めてのことばかり、聞く話は農業や林業、田舎での暮らしについてなど、今までじかに聞いたことのない話を聞くことができました。簡単には解決できない問題だらけですが、田舎と都会は互いに関係を持ち合って暮らしていく必要があると感じました。それ以上に、錦江町で親切にしてくださった方々との関係をずっと続けていきたいと願っています。本当にお世話になりました。

## 鈴木 泰朋（派遣期間：7月30日～8月13日）

錦江町を選んだ理由には民泊ができるということと色々な体験が出来るということで錦江町を選びました。民泊については、私の想像以上に家族的に付き合ってもらえたと思っています。とても嬉しかったです。また、私がしてみたいと思っていた農作業は力仕事で辛いものになると思っていましたが、トラクターに乗せてもらったり、大豆を植えさせてもらったり、自分の想像とはいい意味で違って良かったです。自然体験まるごとツアーではそうめん流しには少し驚きましたが、私も子供たちと一緒に錦江町のいい所を楽しめたのでとてもよい企画だと思います。自然体験まるごとツアーはインターン生にとって魅力的な体験の1つであると思います。

私の中で一番衝撃的だったのは錦江園でした。介護がないと生活できない人達がこのような生活をしているのだという事と介護というのはこんなにも大変であるという事を実際に見て聞くことが出来たのは自分にとって本当によい経験であったと思います。

このインターンを通じてテレビや大学の授業が全て正しいのではないということを実感させられました。地方は、大きな病院はあるが診てくれる先生がいない、バスが週に何回かしか来ない、電車も通っていないなど、車がないと生活ができないという現状であるということが分かりました。また、農家であるために移住することがあまりないために、地域の人々の結びつきが強く、家族のような関係でいられるからこそ地方で生活することが出来るのだと感じました。

今回のインターンで様々な体験をさせていただいた事に本当に感謝しています。2週間という期間はとても充実していて貴重な時間でした。

本当に有難うございました。これからも宜しくお願いします。



▲大滝公園でのスナップショット